



2020年8月12日

各 位

上場会社名 J F Eホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 柿木 厚司  
 (コード番号 5411)  
 問合せ先責任者 IR部広報室長 俵 英嗣  
 (TEL 03-3597-3842)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

### ●業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上収益	事業利益※	税引前 四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	1,460,000	△125,000	△132,000	△110,000	△191.03
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	1,871,292	49,063	42,782	31,934	55.46

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	事業利益※	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	3,170,000	△100,000	△115,000	△100,000	△173.66
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	3,729,717	37,899	△213,473	△197,744	△343.39

※事業利益：税引前利益から金融損益および金額に重要性のある一過性の項目を除いた利益。当社連結業績の代表的指標。

### 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、特に鉄鋼事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現下の業績動向ならびに現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、連結業績予想を公表いたします。

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各需要業界の活動水準の低下等の影響により、通期のグループ全体の損益は1,000億円の事業損失となる見通しです。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

鉄鋼事業では、国内の鋼材需要は、4～6月をボトムに、7～9月以降、自動車分野の需要の回復、土木分野での季節要因等も含めた鋼材需要の増加等を見込み、段階的に回復することを見込んでおります。海外では、新型コロナウイルス感染症拡大動向や米中間の緊張の高まり等、見通しはより不確実ではあるものの、中国経済の回復や欧米各国の自動車販売も底打ちの動きが見られ、下期にかけては徐々に回復していくと想定しております。このような環境を踏まえ、JFEスチール単独の粗鋼生産量は、上期は急激な減産影響により1,000万トン程度を見込むものの、下期は各需要業界の活動水準の回復を想定し、1,200万トン程度を見込んでおり、通期では2,200万トン程度を想定しております。セグメント利益については、上期は数量減影響等により1,450億円の損失を見込むものの、下期は需要の回復による生産量の増加と、それによるコスト削減効果の拡大等を見込み、セグメント利益は0億円となる見通しです。通期では、1,450億円の損失を想定しております。

エンジニアリング事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大影響による工事量減による売上収益の減少を見込むものの、環境、社会インフラ分野等の公共工事を中心とした大型案件の出件増による受注増を見込んでおります。セグメント利益は前年度を下回る通期210億円となる見通しですが、コロナ状況下においてもセグメント利益200億円を上回る予定であり、安定的な収益確保を継続しております。

商社事業においては、上期を中心とした鋼材需要の大幅な減少や世界的な経済停滞の影響による販売数量の減少により、セグメント利益は前年度を下回る通期120億円となる見通しです。

※セグメント利益：事業利益に金融損益を含めた利益。各セグメントの業績の評価指標。

## ●配当予想の修正について

修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2020年5月12日発表)	円 銭 —				
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	0.00	20.00

配当予想修正の理由

当期の中間配当については、前回公表においては未定としておりましたが、当第1四半期連結累計期間の業績および当第2四半期連結累計期間の業績予想を踏まえて、誠に遺憾ではありますが、実施しない方針とさせていただきます。

なお、期末配当については、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定としております。

以 上